

解答

一

- ウ 練習しまくゝるしかない〔から。〕
期待にこたゝが混在する〔気持ち〕

イ

〔柏木先生が〕携帯電話を足もとに置くのを見られないようにするため、観客と係員の視線をグラントピアンからそらすこと。

6

ノからそらすこと。

7

6 ア 7 エ
松山先生に歌を届けたいという強いおもい。

二

- 1 この子が非ゝは何かなど
2 「その時その場の真実」に賭ける〔から。〕

3

エ

- 4 誰がいつどこで聞いても正しいこと・いつどこでも誰にでも通じる正しいこと
5 役に立たない〔もの〕

6

ある時役に立った忠告を、普遍的真理のように思ってしまうこと。

7

イ

ア

三

1

ぞうきばやし

2

じよぶん

3

のうりつ

4

そな〔える〕

5

いた〔る〕

四

1

日課

2

磁石

3

城下

4

収〔める〕

5

日増〔し〕

解説

一

8

「私たちは、ただ歌を届けたかった。海をわたったところにいる、大切な人（＝松山先生）に。」という「純粹で強いところ」を共有していたことを読み取りましょう。

二

5

二つ前の段落に「ある時、ある人に役だった忠告が、100％正しいこととは言い難い」「ひとつの忠告が役立っていると、人間は嬉しくなってそれを普遍的真理のように思い勝ち」とあり、次の段落でその具体的な例をあげています。この部分を指していますので、まとめて答えましょう。